



あすびあ通信



発行：小平市民活動支援センター あすびあ

なるほど！ 出前講座
デリバリーこだいら

しらべて
みました

- 1面：なるほど！ 出前講座デリバリーこだいら
- 2～3面：あすびあ登録団体＆市民活動団体紹介
- 4面：本の紹介、講座・サロン報告 ほか



出前講座の様子

《リーフレット》*1



◆資源循環課 朝野さんから一言

平成 29 年は、家庭ごみ有料化が始まるまでで 335 回実施しました。中には 2 人の集まりや、有料化を機にごみのことに興味を持つ若い世代の参加を喜ぶ自治会やマンション管理組合にも出向きました。最近ではまず有料化後のごみが減っていることを伝え、新しい分別方法に慣れていない人々には粘り強く説明しています。

〈課はリサイクルセンターへ移転〉

◆防災危機管理課 加藤木さんから一言

主に自治会・町内会や自主防災組織に出向き、「災害時に自分たちで何をすべきかがわかってよかった」という感想を多く聞きます。大きな災害があると申込みが多くなります。いざというときに思い出してもらえるように「自助・共助」の考えをわかりやすく伝えたいと思います。

小平市は、小平市自治基本条例が掲げる「参加と協働のまち」です。「参加と協働」を進めるためにはお互いを知ることが大切です。その機会のひとつに「なるほど！出前講座デリバリーこだいら」（以下、出前講座）があると思ったので、新井さん（秘書広報課広報担当）に聞きました。

出前講座は平成 13 年から始まりましたが、その前から希望に応じて市内に出向いて仕事の説明をしてきました。市内在住、在勤、通学している 10 人から 30 人程度の団体やグループが対象で、申込みはメール・電話・窓口で 1 か月前からできます。会場は申込み側が決める、土・日・祝日開催も可能です。事前に質問を提出したり、希望に添った講座内容の微調整もできます。61 のメニューがあり、各課に 1 つ以上の講座が準備されています。中でも「ごみの出し方とリサイクルのしかた」（資源循環課）と「家庭と地域における地震対策」（防災危機管理課）の申込みが多く、取材当日も防災講座がありました。出前講座に応じるたびに担当職員の説明力アップになるということでした。

小平市は徒歩圏内に公共施設があり、市民活動をする人々（*2）が大勢います。すでに出前講座を団体の活動に活かしたり、学習会の企画として利用している団体もあります。総会と同じ日に開催してもいいかもしれません。住むまちに関心を持ち、市と市民がお互いに知り合う機会がふえるほど、住みよいまち小平をつくる流れができていくのではないかと思います。

（谷）（佐）

◇出前講座を申込んだ団体の感想から

- ・休日でも講座を開くことができた
- ・事前の質問に当日答えてもらった
- ・内容も更新されていた
- ・ネットで申込みができてよかった
- ・映像ありの講座もあってわかりやすい
- ・不安に思っていたことを伝えられた
- ・担当者から「それには気づかなかった」という発言があってよかった

○出前講座のメニュー例

- 「こだいらの市民活動にふれてみよう」（市民協働・男女参画推進課）
- 「小平グリーンロードについて」（産業振興課）
- 「子どもと読書 本の楽しみ」（図書館）
- 「下水道のことがわかる」（下水道課）
- 「市民税のおはなし」（税務課）
- 「こだいらの台所事情を知る」（財政課）
- 「公共施設マネジメントってなんだろう」（行政経営課）
- 「福祉のまちづくりと避難行動要支援者の支援」（生活支援課）

*1 リーフレットはホームページから印刷できます

<https://www.city.kodaira.tokyo.jp/kurashi/007/007898.html>

*2 あすびあ発行 市民活動団体データ集『あすびあ』参照